



仙台湾南部海岸（空港区間）堤防完成式の開催

平成24年3月23日(土)岩沼市下野郷で、空港区間の堤防の完成式典が執り行われました。

平成23年の震災後、仙台～山元まで約30kmを直轄区間として、堤防復旧工事を進めてきましたが、今回、仙台空港前や浄化センター等の重要施設付近の約5kmを完成させました。

その他の区間についても鋭意施工中で、平成27年度中には全区間の完成を予定しています。沿岸地域の復興と住民の安全・安心な生活を取り取り戻すため、今後も一層の堤防工事の推進に努めて参ります。



▲ 武田海岸副所長の号令により、最終ブロックが設置され、空港区間堤防が完成した。

- 空港区間完成によせて -

仙台湾南部海岸 二の倉工区北部第1復旧工事
春山建設(株) 現場代理人 伊藤卓也

今回の堤防工事は発注区間が長く、各工区、同じような工程で作業が進捗するため、資材運搬のダンプが同時期に集中し、事故及び苦情の発生が懸念されました。

そこで当工区では盛土材の運搬時期を早めて現場内へストックし、場内で小運搬を行うことでダンプ集中の回避を図りました。場内での小運搬作業は発生しますが、施工速度に合わせた納入が可能となり、工事進捗にプラスになりました。

また、被覆ブロックをプレキャスト製品に代替えたため、現場内での製品の置き場の確保に問題が発生しました。



当工区ではヤードが狭いので、地盤改良・基礎工・法面被覆など各種の終了時期を厳守し、次工程の製品置き場を確保しました。

それにより、製品の納入期間を長くとることができ、1日あたりのトラック運搬台数を少なくすることができました。

当社では仙台空港前の現場ということもあり、当初より年度内で完成しなければならないつもりでいました。これも、監督職員の配慮や作業員、資材納入業者の協力もあって何とかここまですることができました。工期終盤にきて寒さや強風の日が例年より多く感じられましたが、作業員全員、完成に向けて頑張りました。





応援職員からのメッセージ

仙台湾南部海岸
海岸復旧推進室
監督官 岩田 伸隆

平成23年度の震災の後、各地の地方整備局から東北の復興事業のために多数の職員が応援に来てくれています。海岸復旧推進室でも、中部・北陸・中国・四国・九州地方整備局からの応援職員が事業推進のため頑張っています。

今回、堤防が完成した空港区間の工事監督業務を担当した中部地方整備局の岩田監督官からのメッセージをご紹介します。



「震災復興のために、東北地方整備局へ転勤してくれないか?」、
「わかりました。喜んでお受けします。」

そんなやりとりの後、平成23年7月、私は名古屋から仙台へ転勤して参りました。着任当初は、海岸堤防の緊急復旧工事の真っ最中。余震や津波に注意しながら、真夏の暑い日差しのなか、休日返上で作業され、所定の期限までに無事故で工事を完成させた建設業者さんの努力・責任感・義務感に強く心を打たれました。

緊急復旧工事が完了してまもなく、本格的な復旧工事に着手。私は、仙台空港前面を防護する区間を主に担当し、平成25年3月に当該区間も無事故で完成しました。

4月からはまた名古屋に戻ります。1年9ヶ月という短い期間でしたが、土地勘もなく、知り合いもない私がなんとかやってこられたのも、地元の方々、関係機関の方々、東北地方整備局の方々、そして、建設業者の方々の暖かいご支援・ご理解があればこそと、心からそう思っています。海岸堤防の復旧工事もまだまだ続きますが、どうか皆様、お体ご自愛ください。私も仙台での経験を活かして、新天地で頑張る所存です。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

震災から2年 空から見た堤防復旧状況

平成25年3月11日撮影



蒲生浄化センター付近



仙台空港 付近



県南浄化センター付近



北釜海岸



二ノ倉・蒲崎海岸



山元海岸 坂元川付近



磯浜漁港より北側を望む

*** 工事期間中は周辺地域の皆様にご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願い致します。 ***